

市の人口と予算(3月1日現在)	
人口・世帯()内は前月比/前年同月比	
合計 = 165,047人 (+364/+2,970)	
世帯 = 65,422世帯 (+171/+808)	
※H22年国勢調査の速報値をもとに再集計しました。なお、男女別は今年10月の確定値の公表までは集計できません。	
予算	
一般会計 = 416億8,532万7千円	
特別・企業会計 = 351億 437万7千円	



故・眉山俊光氏

前流山市市長 眉山俊光氏が逝去

第4代流山市市長で3期12年にわたって本市に多大な功績を残された、眉山俊光氏が2月24日に亡くなられました。享年88歳でした。

眉山氏は、南部中学校校長などを経て、昭和55年流山市教育長に就任。以来11年にわたり流山市の教育の発展のために尽力された後、平成3年

5月流山市市長に就任。「価値あるまちづくり」を基本理念に、市民一人ひとりが真の豊かさを実感できるまちづくりに取り組まれました。

とりわけ、つくばエクスプレス沿線の区画整理事業に対する市民の合意形成や、クリンセンター・リサイクルプラザなど環境施設の整備を行い、現在の流山市発展の基盤を築かれました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

歴史ある建物から情報発信

万華鏡ギャラリー「見世蔵」



昨年8月に万華鏡ギャラリー「寺田園茶舗「見世蔵」」がオープンして半年余り。1カ月に約500人の方々が生内外から訪れています。流山本町界隈の活性化を図るため、倉庫として使われていた明治22年築の土蔵造りの建物を、情報発信型のギャラリーとして開放したものです。市が運営を委託した「NPO法人グローバルながれやま」では、万華鏡作りの講座や付近に点在する史跡のガイドツアーなど、さまざまなイベントを企画し見世蔵を拠点に交流の輪が広がっています。

また、4月中には流山おおたかの森駅と流山本町を結ぶ民間バス路線も開設される予定です(問い合わせ:京成バス株松戸営業所☎047-362-1256)。これにより、一層この地域の利便性が向上し、地域振興にもつながるものと期待されます。

【開館時間】 10時～16時
※月・火曜休館
【住 所】 流山2丁目101
【交 通】 流鉄流山線流山駅から徒歩5分
【入 場 料】 無料
※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください
☎見世蔵☎7103-2817



プリ蔵くんが大人気!

覗いた人自身が万華鏡の模様になる大型万華鏡「プリ蔵くん」が、今月3日から見世蔵に常設展示され人気となっています。覗いた人の反対側からカメラを構えると、楽しい写真が撮れます。ぜひ、カメラを持ってご来場ください。



さまざまな形の万華鏡を展示

見世蔵は木造2階建てで、広さは約107㎡。昭和38年ごろまでは、居宅兼店舗として使用され、実際に茶舗が営業されていました。その後は、倉庫となっていました。新たにギャラリーとしてよみがえり、地域のコミュニケーションスポットとなっています。

魅惑の万華鏡がずらり まぶしはのぞいて驚いて

作品をはじめ、寺田園茶舗で使われていた古い茶壺や茶箱なども展示されています。中里さんは、昨年6月にアメリカ・カリフォルニア州で開催された世界最大の万華鏡コンベンション「カレイドスコープ・ソサエティ・コンベンション」で、2大会連続となる最優秀作品賞を受賞するなど、世界を舞台に活躍されている日本でも屈指の万華鏡作家です。



古い茶壺や茶箱も展示

大切に残してきた甲斐があります

寺田英一さん
(見世蔵所有者)



古い建物で倉庫代わりにしていましたが、土蔵造りも珍しくなったので、風通しなどに気を遣いながら大切に残してきました。昨年、万華鏡ギャラリー「見世蔵」としてよみがえり、古い建物に関心のある方や万華鏡を始めとする展示物に興味のあるたくさんの方に見ていただけるようになって、これまで壊さずにいた甲斐があります。見世蔵では、さまざまなイベントも行われるようになり、さらに多くの方に訪れていただいて、周辺の街の活性化につながれば幸いです。

3月の見世蔵イベント

流山の昔を語る会

「みりんの香る街 流山」著者・青木更吉さんと見世蔵所有者の寺田英一さんが、「第二次大戦と流山」について語ります。
▷日時 = 3月26日(土)11時から ▷参加費 = 無料 ▷定員 = 20人(先着順) ▷申し込み = 電話で見世蔵へ

史跡・菜の花ガイドツアー

江戸川沿いの菜の花散策ツアーです。
▷日時 = 3月31日(木)9時30分、流鉄平和台駅集合 ▷参加費 = 200円(絵葉書付) ▷定員 = 20人(先着順) ▷申し込み = 電話で見世蔵へ

☎見世蔵☎7103-2817 (月・火曜休館)



4月1日から「森の工」堆肥」を販売

農業や家庭菜園などに使えます

森のまちエコセンターで作っている堆肥は、これまで無料で試供してきましたが、4月1日からは「森の工」堆肥」として有料販売を始めます。

販売方法は、「袋詰め売り」と「量り売り」の2種類です。

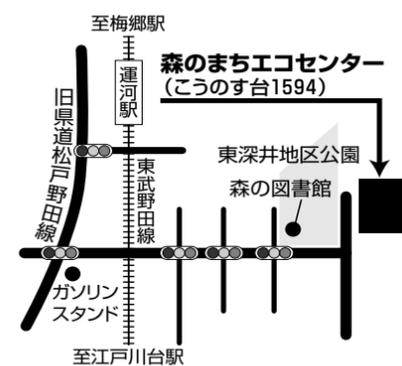
【販売場所】

①森のまちエコセンター(袋詰め売り、量り売り) ②クリンセンター(袋詰め売り)

【配達販売(袋詰め売りのみ)】10袋以上のご購入であれば、市内に限り有料で配達します。配達料金は1袋当たり100円(堆肥代別途)です。お申し込みは電話で森のまちエコセンターまたはリサイクル

【販売料金】
①袋詰め売り...1袋(10kg)

②量り売り...10kgあたり50円(税込) ※10kg単位での販売。袋やバケツなどの容器をお持ちください。



推進課へ。詳細はお問い合わせください。3月末までは無料で提供

子宮頸がんワクチンが全国的に不足

供給が安定するまでお待ちください

平成23年3月4日に子宮頸がんワクチンの製造販売業者より、全国の医療機関等からの注文が急増し、全国的に十分な供給ができなくなったと報告がありました。そのため、新規の接種の予約が取りにくくなるなど、市民の皆さんに

ご迷惑をおかけしています。市では、現在、中学2年生を対象に実施している子宮頸がんワクチンの接種費用の公費助成を、平成23年度から対象年齢を中学1年生から高校1年生へ拡大する予定となっています。

災害時に住宅を提供する協定を締結

市は、大規模災害の発生時に、住宅を失ったり破損などで住めなくなった方に対して、一時的な住家として利用可能な民間賃貸住宅の情報と住宅の提供を行えるよう、(社)全日本不動産協会千葉県本部と「災害時における民間賃貸住宅の提供に関する協定」を2月15日に締結しました。2月2日には(社)千葉県宅地建物取引業協会東葛支部流山地区とも同協定を締結しており、より広く住宅などの提供を受けられることとなります。

この協定により、災害時に県が災害救助法を適用する前に、市単独で住宅の提供を行えるようになります。

図安心安全課 ☎7150-6312

おおたかの森出張所に 休日窓口を臨時開設

3月・4月は市民課の窓口が大変込み合うため、休日窓口を次のとおり、おおたかの森出張所に臨時開設します。

▷開設日=3月27日(日)、4月3日(日)

▷時間=10時~18時

【おおたかの森出張所を臨時休業】

システムメンテナンスのため、4月9日(土)を臨時休業とします。

図市民課 ☎7150-6075

介護相談員を募集

サービス利用者との橋渡し

高齢者の介護サービスを利 用する方の疑問や不安、意見に耳を傾け、利用者やサービス提供者と市との橋渡し役となる、介護相談員を募集します。

▽募集人数 若千名

▽任期 委嘱日から2年間

▽報酬 日額6000円

▽応募方法 介護サービスについての意見や関わりなどを800字程度(自由形式)にまとめ、住所、氏名、電話番号、年齢、性別、応募の動機を明記し、介護支援課へ

▽選考方法 書類審査の上、面接。選考結果は応募者全員に通知。

▽応募資格 市内在住の20歳以上で介護サービスの知識があり、相談活動にふさわし

図介護支援課 ☎7150-6531

高齢者総合計画策定調査にご協力を

65歳以上の方を対象に実施



高齢者の方の現況を調べるため、高齢者総合計画策定調査を実施します。対象は、無作為抽出した65歳以上の市民2,000人と、介護保険の要支援・介護認定者1,000人です。対象者には調査票を発送しますので、届いた方はご協力をお願いします。

【調査の目的】

調査結果は、高齢社会における課題と取り組みをまとめた「流山市高齢者総合計画」を策定するうえでの資料として利用します。

「流山市高齢者総合計画」は、今年度で計画期間が終わる「第4期介護保険事業計画」の次期計画「第5期介護保険事業計画」と、「老人福祉法に基づく老人福祉計画」を併せたものです。

図社会福祉課 ☎7150-6079

忘れていませんか？ 4月1日現在の軽自動車の廃車手続き 所有者へ課税

軽自動車税は、毎年4月1日(基準日)に、軽四輪、原動機付自転車、自動二輪車などを所有している方へ課税します。人に譲った、処分した、盗難に遭ったなどの理由で所有していない方は、名義変更や廃車の手続きを3月31日までをお願いします。

なお、流山市ナンバーの原動機付自転車などの廃車の手続きには、①ナンバープレート②標識交付証明書③印かんが必要で、手続き先は次の表をご覧ください。

種類	場所	電話番号
125ccまでのバイク、小型特殊自動車など	流山市役所市民税課	7150-6073
125ccを超えるバイク	千葉運輸支局野田自動車検査登録事務所(野田市)	050-5540-2023
軽四輪自動車	軽自動車検査協会千葉事務所野田支所(野田市)	7120-2020

図市民税課 ☎7150-6073

公共下水道を使用できる区域が広がります

供用開始区域の案内と縦覧

公共下水道を使用できる区域が、新たに広がります。お住まいの区域が該当するかどうか確認していただくため、3月16日から縦覧を行います。供用開始区域になると、1年以内(汲み取り式トイレは3年以内)に公共下水道への接続が義務づけられます。公共下水道の役割をご理解いただき、早めの接続をお願いします。公共下水道への切り替え工事には、助成制度「水洗便所融資あっせん及び利子補給制度」がありますので、ご利用ください。なお、公共下水道への切り替え工事は、市指定の下水道工事店で行かれないので、ご注意ください。

【3月31日供用開始区域】

平和台4丁目、大字東深井

【縦覧】
期間: 3月16日(水)~30日(水)
※土・日曜、祝日は除く
時間: 8時30分~17時15分
場所: 下水道業務課

※現在、公共下水道を使用できる区域にお住まいで未接続の方も、早めの接続をお願いします。

図下水道業務課 ☎7150-6096

講座・講演

★ボランティア養成「点訳講座」
将来、点訳ボランティアを目指す方を対象にした、初歩から簡単な文章の点訳ができるまでの講座です。

4月6日から1年間(水曜、全36回)13時30分～15時30分
身体障害者福祉センター 未経験者 10人(先着順) 1,500円程度
3月31日までに電話かファクスで身体障害者福祉センターへ

7155-3638 FAX 7153-3437

★平成23年度身体障害者福祉センターの各種講座

4月から1年間の講座です。

Table with 2 columns: 講座名, 日時. Includes items like 機能回復訓練, 音楽療法, 言語訓練, etc.

身体障害者福祉センター 市内在住の身体障害者手帳をお持ちの方
①～③⑤各15人④20人⑥5人※多数抽選
無料※講座によって自己負担あり
3月25日までに電話かファクスで身体障害者福祉センターへ
※①～④は送迎あり(停留所要相談)
身体障害者福祉センター
7155-3638 FAX 7153-3437

会議(傍聴可)

★福祉施策審議会

3月16日(水)10時～12時
水道局 高齢者総合計画・地域福祉計画・障害福祉計画の策定、高齢者等給食サービス費用の見直しについて

社会福祉課 7150-6079

★市防災会議

3月18日(金)11時から
市役所 地域防災計画の修正事項について

安心安全課 7150-6312

★第7回まちづくり条例検討委員会

3月22日(火)14時30分～17時
水道局 まちづくり条例骨子(案)の検討について

都市計画課 7150-6087

★生涯学習審議会

3月23日(水)14時～16時
市役所 青少年関連施策について

生涯学習課 7150-6106

★行財政改革審議会

3月25日(金)13時30分から
市役所 平成23年度の行政評価について

行政改革推進課 7150-6078

その他

★文書配布について

3月16日(休)付で、自治会などを通じて文書配布を実施します。各出張所、各公民館でも閲覧できます。

【回覧文書】男女共同参画情報紙、教育広報「真心」など

【全戸配布】ごみ収集日カレンダー
コミュニティ課 7150-6076

★流山市教育実践発表会

市内全小・中学校が特色ある教育実践の紹介を行います。

3月24日(木)13時30分～16時35分
生涯学習センター 100人(先着順) 不要

指導課 7150-6105

★ウォーキング・ジョギング&豚汁会

3月27日(日)※雨天中止 7時30分から7時45分に市民総合体育館前広場に集合
市総合運動公園周辺を3～5km ウォーキング、ジョギング。終了後、豚汁を食べます。
200円 不要

生涯学習課 7150-6106

平成22年度手賀沼ポスターコンクール入賞者の展示

手賀沼水環境保全協議会が主催する同コンクールの応募作品1,071点の中から選ばれた最優秀賞3点、優秀賞9点を展示します。

3月14日(月)～18日(金)8時30分～17時15分
市役所市民ギャラリー 無料

環境政策課 7150-6083

八木南コミュニティ地区合同講座発表会(同運営連絡会議主催)

3月27日(日)9時30分～15時30分
県立特別支援学校流山高等学園 八木南地区で活動するグループによる発表会(舞踊、書道、民謡、油絵、カラオケなど)
無料 不要

コミュニティ課 7150-6076

一茶双樹記念館 春のイースター・ゴスペルコンサート

昨年7月に感動を呼んだ、あのゴスペルクワイヤーピュア・プレイズが一茶双樹記念館に再登場。迫力あるゴスペルを和の空間でお楽しみください。

4月8日(金)13時～14時
一茶双樹記念館 60人(先着順)
500円(入館料込み) 一茶双樹記念館へ電話かファクスで

一茶双樹記念館 FAX 7150-5750

選挙人名簿の登録者数

公職選挙法に基づく3月1日現在の、選挙人名簿の登録者数は134,049人(前回比454人増)です。

男女別では、男66,360人、女67,689人です。選挙人名簿の登録は、正確な有権者数を把握するため、年4回行っています。

市選挙管理委員会事務局
7150-6100

人間ドック助成券・あんま助成券

3月14日から受け付けを開始

国民健康保険、後期高齢者医療の平成23年度分「あんま、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施設利用助成券」と「人間ドック」の申請を3月14日から受け付けます。

【あんま、マッサージ、指圧、はり及びきゅう施設利用助成券】

対象=60歳以上の国民健康保険加入者、および後期高齢者医療制度加入者
助成金額=利用券1枚500円
利用できる施術所:市内指定施術所

【人間ドック助成】

対象=国民健康保険に1年以上連続して加入している35歳以上の方、および後期高齢者医療制度加入者
自己負担額=12,600円
検査医療機関=指定医療機関

申請方法=3月14日から、国民健康保険加入者は国保年金課で、後期高齢者医療制度加入者は高齢者生きがい推進課の窓口で受け付け(各出張所でも可)。助成券は後日郵送します。※保険料の滞納がある方は、助成を受けられません。人間ドックを受診した方は、特定健康診査、健康診査を受診できません。指定施術所・医療機関はホームページをご覧ください。

国保年金課 7150-6077

高齢者生きがい推進課 7150-6080

リサイクルプラザ・プラザ館の再生自転車の販売

ごみの減量・資源再利用の一環として、粗大ごみとして出された自転車を再生修理して安価で販売します。

応募期間=3月15日(火)～29日(火)

※21日(祝)を除く

受付時間=9時～17時

応募資格=市内在住・在勤・在学の方

※1世帯1点、1年以内に当選した世帯は除く。

応募方法=リサイクルプラザ・プラザ館で展示している自転車のうち、希望する自転車を申し込み用紙に記入し、直接プラザ館窓口へ。※多数抽選。結果は当選者のみに通知。

引き渡し=自転車は現金と引き換え。運搬は各自で。

リサイクル推進課 7157-8250



キッズ 流山おもちゃ病院

おもちゃドクターが壊れたおもちゃを修理します。思い出の詰ったおもちゃはいつまでも大切に。

日時=3月22日(火)・26日(土)10時～12時※11時まで受け付け

場所=リサイクルプラザ・プラザ館

費用=無料(材料費は実費)※修理できない場合もあります。また、コンピューターゲーム機は受け付けていません。

申し込み=不要

キッズ ケロク★クラブ作品展

不用になった洋服を再利用してバッグやポーチなどに生まれ変わらせる「ケロク★クラブ・子どもリサイクル手芸教室」。その作品展を開催します。子どもたちの創意工夫をご覧ください。

期間=3月15日(火)～4月15日(金)
※21日(祝)を除く

時間=9時～17時

場所=リサイクルプラザ・プラザ館

リサイクル推進課 7157-8250

しみんの伝言板

このコーナーに掲載を希望する方は、掲載申込書(一部の市内公共施設備え付け、市ホームページからのダウンロードも可)に必要事項を明記の上、秘書広報課に提出してください。なお、イベント掲載希望者は、掲載希望号の1カ月前までに提出を。
秘書広報課 7150-6063

イベント

第15回日本春蘭展示会(春蘭友の会主催)=3月21日(祝)10時～17時、東谷自治会館。入場料無料
7158-2769

ドキュメンタリー映画「1/4の奇跡～本当のことだから～」(映画上映の会主催)=4月9日(土)14時～15時50分(開場13時30分)、生涯学習センター。入場料一般1,000円(当日1,500円)中・高校生500円(当日800円)
7150-6315

サークル

会費など詳細は問い合わせを

流山スクエアダンスクラブ=毎週土曜13時～15時、主に南流山センター※初心者講習会開講中
7154-2820

気功太極拳(八十八会)=毎週火曜18時～19時30分、主に初石公民館
7154-9772

カトレア会(エアロビクス)=毎週木曜10時～12時、主に市民総合体育館
7158-2171

市内で行われたイベントや話題の情報など、幅広くピックアップ! 旬の出来事をお届けします。

おとなりさん Vol.49

水彩には無限の可能性 個性ある作品を 描き続けたい

秋元由美子さん (流山6丁目在住)

水彩画の魅力「透明感としっとり感、そんな感覚が日本人には合っている」と語る水彩画家の秋元由美子さん。千葉県水彩会代表を務め、水彩人同人、日本美術家連盟会員でもある。18歳から洋画家の父・故笹岡一画伯が作ったL・T・S笹岡絵画研究所で絵を学んだ。千葉県展をはじめ数々の展覧会に作品を出展。2006年には水彩連盟展で損保ジャパン美術財団奨励賞を受賞した。

「水彩画は間口が広くて入りやすい分、奥も深く、長続きさせることが上達の秘訣」と話す秋元さんは、4年前から流山市生涯学習センターで「楽しい水彩画教室」の講師を務め、約40人の受講生に教えている。生徒たちの個性を伸ばすことをモットーに、欠点を指摘するのではなく、長所を伸ばしていくのが指導方針。秋元さんの人柄や実践的な講義が人気で、継続する人がほとんどだ。そんな生徒たちの作品が、同センターで3月19日まで開催中の「受講生作品展2011」に出展されている。秋元さんが一昨年の千葉県展に出展された「亀茲の洞窟」(30号)も観られる。



「泰山木 (李朝)」(6号)
3月23日から29日まで伊勢丹松戸店本館の9階ギャラリーで、「秋元由美子水彩画展～器と花果～」が開かれる。8号前後を中心に30号の作品まで約30点を出展。「泰山木 (李朝)」も出展作品。繊細な色合いはぜひ会場で。



流山流

ながれやますたいる

水彩画とともに秋元さんがライフワークとするのが、洋画家の笹岡一、同じく洋画家で歌人でもある母・秋元松子、俳人の祖父・秋元洒汀(いすれも故人)と多くの文化人を輩出している秋元家を顕彰することだ。両親のアトリエを市に寄贈して、今では市民の創作活動や文化・芸術に親しむ場となっている「杜のアトリエ黎明」で、秋元家ゆかりの絵画展や記念展も毎年開催している。

「絵は好き嫌いで観ればいい」と語り、万人に分かる絵ではなく自分の内面を探索したいと更なるテーマを模索する秋元さんは「生涯、1点でいいから傑作を」とも。でも、一生満足することなく、命ある限り絵筆を握り続けることだろう。湧き出る想いと強いまなざしに、そんな意欲が見て取れた。

弦楽合奏と朗読で記念コンサート

本番に向け子どもたちの練習に熱

3月29日のSFS合奏団設立20周年記念コンサートに向け、メンバーの子どもたちの練習に熱が入っています。2月27日には、森の図書館視聴覚室で3時間に渡り合奏練習が行われました。SFS合奏団は、流山市をはじめ近隣の小中高生約30人が所属する、バイオリンなどの弦楽器の合奏団です。

今回の記念コンサートでは、演奏だけでなく朗読も交えた音楽物語「3つのオレンジの魔法」が披露されます。この日の練習は、当日に朗読を担当する日本大学芸術学部映画学科で学ぶ学生らも参加して、合奏と朗読を合わせながらコンサートの構成も考えての練習となりました。

3歳からバイオリンを習い始めたという西深井小4年の豊田彩楓さんは、「バイオリンは上達するのがすごく良く分かるので練習しがいがあります。」

コンサートでは演奏とともに朗読も楽しんでほしい」と語ってくれました。

コンサート本番の前に3月21日(祝)、生涯学習センターで障害をおもちの方や中学生以下の子どもたち、高齢者を無料招待する公開リハーサルも開かれます。詳細は生涯学習センター(7150-7474)までお問い合わせください。



本番に向け練習に励む子どもたち。20周年記念コンサート(前売り1,000円)は、3月29日(火)18時30分から、さわやかちば県民プラザ(柏市)で行われます。未就学児の入場は不可、詳細は石山さん(090-8015-6292)まで。

矢河原の渡し広場に桜を植樹

江戸川堤近くの新たな名所に

3月6日、加六丁目地先の江戸川「矢河原の渡し」近くの広場で桜の植樹式が開催され、地元自治会の役員や子ども会の子どもたちなど約100人が参加しました。矢河原の渡し桜広場設置委員会(秋元浩司会長)が中心となり、新たな観光名所と、地域住民の憩いの場にしようとして実施したもので、近隣の三輪野山、加台、加岸、根郷、宿の各自治会の協力により実現しました。

植樹された桜は11本。陽光(ヨウコウ)という種類で、花の色が濃いいうえ、花が大きいのも特徴です。樹齢は10年以上で高さも5メートルを超え、すでにつぼみも持っているため、今年から早速お花見ができるのではと期待されます。

鍬入れでは、大人に混ざって子どもたちも、大きなスコップで桜の根元に土をかけました。加岸子ども会の流山北小2年・千葉優人君は、「スコップに土を載せると重かったけど、一生懸命頑張った。桜が咲くのが楽しみ」とうれしそうでした。



畑の土の準備ですが、まずはトラクターや鍬などを使い耕起します。この時、昨年植えた作物の根や、取りきれなかった石などを除去してください。その後バーク堆肥(樹木の枝や皮の部分を発酵させて作った土壌改良材)を散布します。当農園では1区画あたり(6m×5m)約80kgを入れていきます。次にまたトラクターで最初よりさらに深く耕します。そして、畑の整地を兼ねてもう一度耕起して準備は終わりです。このように合計3回耕します。

その後、元肥(苗植えの前の肥料)を散布します。1区画あたり化成肥料6kg、苦土石灰3kg、熔化燐肥(ようり



ん)3kg、油粕3kgを混ぜ合わせた元肥を入れて、スコップで畑の土とよく混ぜ合わせます。

ここまですると、作付けの準備は終了です。ここで一つ注意することは、油粕を馴染ませるために約2週間、畑をそのまましておくことです。これにより、作物のその後の育ち方に違いが出てきます。病気や虫、天候に左右される野菜作りですが、いろいろな事を乗り越えて自分で育てる野菜の味は、買った物とは一味違ってくると思います。ぜひ、野菜作りに挑戦してみてください!

【無料カップルモニターを募集】
当農園では、昨年大好評だった無料の農業体験モニターを募集します。対象は、市内在住、在勤、在学の30代まで

農園作業は12月半ばで終わりましたが、4月からまた新たなシーズンが始まります。冬期間は、畑を耕起し(畑の土を掘り起こすこと)厳冬にさらすことで土中の空気、水を入れ替え病虫害を後退させます。また、作付けを始める前に、昨年の作柄を検討し、今年に備えます。

体験農園レポート (最終回)

新たなシーズンと準備中の土作り